

伊勢命神社 (名神) 稱内宮大明神

祭神 伊勢命

神位 仁明天皇嘉祥元年十一月丁巳朔壬申隱岐國伊勢命神

預明神例縁履有靈驗也

祭日 六月二日

社格 郷社

所在 久見村(豊後郡五箇村大字久見)

特選神名牒

山陽道神一百四十座

兵庫縣

大十六座

就中四座
月次新嘗

小一百廿四座

播磨國五十座

大七座小
四十三座

○明石郡九座

大三座
小六座

宇留神社

祭神

祭日

社格

所在

物部神社

祭神 宇摩志摩遲命

今按社傳祭神大己貴命宇摩志摩遲命素盞鳴尊武甕槌命三
みの又神功皇后征韓より御歸朝の時祭る所なりと云りさ
れど物部の社號による時は四座ますへきにあらねと棟札
に明石郡井川庄伊和坐大名持物部神社とあり又惣社なと

播磨國 明石郡

云ふを思へは中古相殿にかゝる神をも祭りしならん故今
之を訂して記せり

祭日 六月十四日九月九日

社格 郷社(明細帳に物部神社なし上昭村總神)

所在 池上村(明石郡伊川谷村大字上昭)

海神社三座

並名神大
月次新嘗

祭神 底津少童命

中津少童命

表津少童命

今按本社緣起に神功皇后三韓を征し玉ひ兵船無恙此沖ま
て還奉ありしに俄に辰巳の方より暴風起り逆浪沙を巻き
御船を始め危かりし時皇后恭しく御誓願ありて綿津見三
柱神を爰に勸請しかば風波忽に靜り海上穩になりて歸京
ましけりとはるは古傳と聞えたり

神位 清和天皇貞觀元年正月廿七日甲申奉授播磨國從五位

下海神從五位上

祭日 六月十五日八月十五日

社格 國幣中社(官幣中社)

所在 垂水村(明石郡垂水村大字西垂水)

彌賀多多神社

祭神